秋田大学教育文化学部附属小学校　校　報

はとの子だより

No.20　令和８年１１月１９日（木）発行

学校教育目標　　自律　　のびのび　きびきび　わくわく

「愛」という名のまなざしで 子どもの学びを見守る

副校長の私が好きな言葉の一つに**「愛」**があります。若い頃、我が家に女の子が生まれたら、名前に「愛」の漢字を入れたいと考えていました。

辞書で「愛」の意味を調べてみると、「個人の立場や利害にとらわれずに、広く身の回りのもの全ての存在価値を認め、最大限に尊重していきたいと願う、人間に本来備わっているととらえられる心情」と記されていました。


玄関前の落ち葉を掃く子どもたち

この定義に触れたとき、私は「教育の本質は、まさにここにある」と感じました。教育において欠かすことができないもの、それは子どもに注ぐ「愛」です。我が子や目の前にいる子どもの存在価値をそのまま認め、その歩みを最大限に尊重する。大人が、その心情を注いだ分だけ、子どもは心身共に健やかに、たくましく成長していきます。

しかし、子どもを育む「愛」は、学校だけ、あるいは家庭だけという孤立したものでは力を発揮しません。**「学校」という学び舎と、温かな愛情に満ちた「家庭」とがしっかりと手を携えてこそ、子どもは「自分は大切にされている」「見守られている」という大きな安心感を得ることができます。その安心感こそが、困難に立ち向かうエネルギーへと変わっていく**のです。

私たち教職員は、保護者の皆様と心を一つにし、子どもの笑顔と成長のために、力を尽くしてまいります。

さて、１１月２０日には、「公開研究協議会II」が開催されます。

１年Ｃ組の特別活動（授業者：新山壮一朗）、６年Ｂ組の道徳（授業者：小室真紀）、そして３年生の総合的な学習の時間（授業者：大森果歩、佐々木駿斗、門脇千尋）の３授業を公開します。

「愛」という名のまなざしで子どもの学びを見守り、研究主題に掲げた「自律した学習者が育つ授業デザイン」のヒントをご参会の皆様に提案できればと考えております。

保護者の皆様方には、運営等でご協力をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。




公開研究協議会に向けて

はとの子の「いま」を伝える　～本校ホームページをご覧ください～

本校のホームページは、はとの子の「いま」を伝えるコンテンツが盛りだくさんです。子どもたちが毎日楽しく学校生活を送っている様子が伝わってきます。情報担当の加藤奈緒美さんが、編集や更新等を担当しています。公開研究協議会に関する情報も掲載し、本校の研究推進に関する内容を、県内外に広く発信しています。お時間のあるときに、どうぞご覧ください。





はとの子の活躍　　～入賞おめでとう～

☆ 令和８年度「税の標語」コンクール　（主催　全国間税会総連合会）

６年Ｃ組の高橋孝太朗さんが、秋田南間税会会長賞（小学）を受賞しました。

受賞作品は、**「見えない税　見える暮らしを　支えてる」**です。秋田南税務署管内には、６７９名の応募があり、８０９作品の中から選ばれました。１１月１３日に、秋田県間税会連合会秋田南間税会の会長である村越正道さんから、賞状と記念品が授与されました。

☆第７９回 全日本合唱コンクール全国大会　（全日本合唱連盟、朝日新聞社主催）

１１月８日に静岡県浜松市で開催されました。５年連続の出場でした。本校合唱部が「銀賞」を受賞しました。先日、副校長室で、受賞報告会と賞状伝達を行いました。

☆第６０回 荘内剣道錬成大会

１０月２４日に山形県酒田市で開催されました。６年Ａ組の早川英里さんと５年Ａ組の三浦帆乃夏さんが所属している「雄信館内山道場Ｂ」チームが、準優勝の成績を収めました。

先日、副校長室で賞状伝達とメダルの授与を行いました。



村越会長と髙橋さん



大山教諭と合唱部のみなさん



早川さんと三浦さん